

令和5年度

決算審査要望書

1 安定的財政運営の堅持とふるさと納税制度活用への推進



1

現在、本市の財政運営はおおむね良好であるが、今後は大きな支出を伴う市有施設の更新や学校施設整備等の実施から、財政硬直化による市民サービスへの影響が懸念される。そのための新たな歳入の確保及び財源の有効活用などにより安定的な財政運営を堅持するよう努められたい。

また、ふるさと納税は本市の大きな財源であるとともに、活力あるまちづくりや返礼品による地元企業の活性化等への効果が認められているが、今後の現状維持には高止まりの気配が伺える。取組の拡充や返礼品の動向を捉え、市として工夫を凝らすなど、市内事業者の協力を得ながら推進されたい。

2 若者移住・定住の促進と安全安心のまちづくりの構築



2

本市を魅力あるまち、またそこへ移り住みたい、住み続けたいまちとするためには、働く環境と安全安心なまちであることが不可欠である。本市の人口減少の継続課題として、若年層の転出超過が挙げられる。定住化促進とともに、若者移住につながる様々な支援の充実及び雇用の創出が見込める環境整備を推進されたい。

また、安全安心の郷土に資するには防災体制整備が重要である。この度、令和4年度の防災アセスメント調査を踏まえた佐野市国土強靱化地域計画及び佐野市地域防災計画の改定が行われた。市民の人命及び財産の保護を最優先に、全庁的な防災体制整備に向けた訓練の実施や、災害時受援体制の整備等の構築に努められたい。

3 こどもの健全育成と保護者の負担軽減に向けた取組の推進



3

全国的に児童虐待の増加傾向が顕著な中、本市においても子どもたちの健全な成長のため、保護者の育児にかかる負担の軽減が急務である。そこで、幼児教育及び保育の意義の重要性を踏まえた役割の拡充が求められている。国が進めている「こども誰でも通園制度」を円滑に導入し、実効性のある制度とするため、民間への財政支援や保育士の確保に努められたい。

また、障がい児が増加する中、地域に障がい児通所施設が増えている。健やかな育成を支援するため、障がい児のニーズを的確に捉え、支援に必要な施設の設置や人材の確保に努められたい。